



Live with a Smile

笑顔で生きる

白山中 学校だより
令和6年 6月 11日

かんきょう

かんが

環境について考えよう

かんきょう

環境ウィーク トライ&アクション

幸運の女神は「笑顔」と
謙虚な人のところに近寄ってくる。

王 貞治



笑顔の名言・格言



「環境ウィーク トライ&アクション」として、特別号の学校だよりでもお伝えしたように、5月31日(金)に環境学習を行いました。環境に対しての意識を高めることがねらいです。

ランチルームに集まり、学年一斉で名古屋市のゴミ問題やゴミの分別について、映像を使いながら学習会を行っていた学年や、SDG'sの環境に関連した項目についてのポスターづくりを行っていた学年がありました。

運動場の環境を整えるために草抜きも予定していましたが、雨が降ったり、運動場の状態が悪くなかったりしたため、中止となりました。

様々な工夫を凝らして、『笑顔』で学び、一生懸命に取り組みながら、環境に対する意識を高めることができました。



上：ゴミ問題学習会の様子
下：SDG'sポスター作成の様子

備えあれば憂い無し

避難訓練

5月24日(金)に今年度初めての避難訓練を行いました。北館ランチ調理室付近から火災が発生したと想定して、生徒は活動場所からの避難や避難場所での集合・点呼集約の訓練を行いました。この日は晴天であったため運動場に避難しました。各学年とも協力しながら静かに素早く移動し、整列時には、校長先生や係の先生から「命を守るための大切な行動」についての話を真剣に聞く様子が伺えました。



秋には立派に実りますように

PTA園芸活動



5月28日(火)に、PTAの役員・委員の皆様でサツマイモの苗を花壇に植える予定でしたが、当日が雨天であったため、後日、学校職員で植えさせていただきました。PTAの役員・委員の皆様、苗等の準備をありがとうございました。雑草が生えないように黒いシートをかけ、間隔を空けながら苗を植えていきました。収穫時期は10月頃の予定です。順調に育ってくれることを願っています。

今年度も生徒が美しい環境の中、皆さんが『笑顔』で学校生活を送ることができるようPTAの方々にご協力をいただきながら、校内の花壇整備に努めていきたいと思ひます。





Live with a Smile

笑顔で生きる

白山中 学校だより
令和6年 5月27日

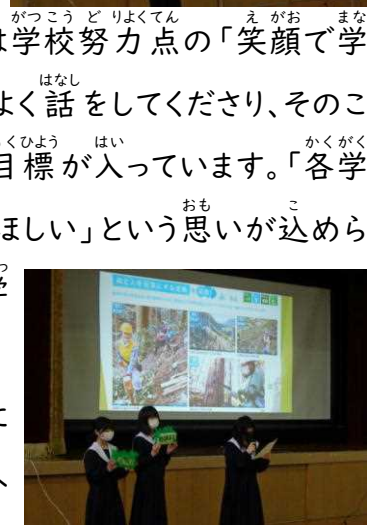
せい と しゅう かい 生徒集会にて

5月7日(火)の生徒集会にて、生徒会執行部が全校生徒の前に立ち、二つの事柄を告知しました。

一つ目は、「生徒会スローガン」についてです。生徒会は、今年度のスローガンを『咲かせ君の笑顔(はな) ～ きらめけその個性(いろ)

みんなの輪(つながり) ～』としました。「咲かせ君の笑顔(はな)」は学校努力点の「笑顔で学び、笑顔で生きる」から考え、笑顔を「はな」と読むのは、校長先生がよく話をしてくださり、そのことが自分たちの心に響いたからだそうです。副題には、各学年の学年目標が入っています。「各学年の学年目標を大切にしながら、笑顔あふれる白山中学校になってほしい」という思いが込められています。生徒会執行部の熱い思いを受け止め、皆さんでよりよい学校生活を作り上げていきましょう！

二つ目に、「緑の募金」活動の説明がありました。毎年この時期に実施されている活動で、生徒会執行部が募金クイズを交えて、活動への協力を呼び掛けました。全学年の生徒がしっかりと話に耳を傾け、ときおり楽しみながら『笑顔』が見られる場面もありました。緑の募金についてより深く理解できた心温まる告知でした。



募金クイズを交えて、全校生徒に募金をPRする執行部

しんりん もく そだ 森林を守り育てるために 「緑の募金」活動

森林は水を育み、山崩れを防ぎ、また、二酸化炭素の吸収源として、地球温暖化の防止に役立っています。直接、感じづらいことかもしれませんが、私たちの暮らしの安心と安全を支える大切な存在であることは言うまでもありません。

私たちに様々な恩恵を与えてくれる森林や緑を豊かにするために、生徒会執行部と環境委員会がコラボレーションして『緑の募金』活動に、5月8日・9日・

10日の三日間で取り組みました。その結果、合計9,425円の募金が集まりました。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。



かんきょう 環境について考えよう

5月31日「環境学習」に取り組みます!!



来月6月5日は「世界環境デー」です。

日本でも、6月の一ヶ月間を「環境月間」として、全国で様々な取組がされています。名古屋市でも、毎年、「環境デーなごや」として様々な取組がされたり、5月下旬から6月上旬の2週間を「環境学習ウィーク」と位置づけられています。

世界気象機関(WMO)から「気候変動の影響に関する報告書」が2023年4月に公表されました。直近8年間の世界平均気温が観測史上最高を記録し、干ばつや洪水、熱波などの被害が世界各地で増加しているとのことでした。

近年、日本でも、夏には、40度近くまで気温が上がる日が増加したり、ゲリラ豪雨の被害が続出したり、逆に雨が降る日が減少したりと、異常気象の発生に不安を感じずにはいられない状況です。

また、世界では、エルニーニョ現象による異常気象に直面しています。エルニーニョ現象は通常約1年後に現れると言われており、直近では2023年にエルニーニョ現象の発生が認められています。つまり、2024年の今年、世界の気温に最も大きな影響を与えられる可能性があり、今年はさらに暑くなる可能性があるとのことでした。

さらに、気象庁によると、日本の今年の夏の気候の見通しは、地球温暖化に加え、エルニーニョ現象の影響で、全国的に気温が高くなり、猛暑日が増えると予想されています。

「かけがえのない地球」を守るために、今一度、自分として、どんなことができるのか? 一人一人が真剣に考え、自分に可能な行動を実践してみたいと思います。どんな小さなことでも継続していくことが、やがて必ず大きなうねりとなり、変化を起こすはずですよ。

31日の「環境学習」や、来月の「環境学習ウィーク」、「世界環境デー」等を、自ら一歩を踏み出す一つのきっかけとしてもらえたらと思います。

※ エルニーニョ現象とは・・・

エルニーニョ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より高くなり、その状態が1年程度続く現象のこと。気象庁HPより